

様式 3

会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和 8 年度第 1 回相模原市文化財保護審議会		
事務局 (担当課)		文化財課 電話 0 4 2-7 6 9-8 3 7 1 (直通)		
開催日時		令和 8 年 8 月 6 日 (木) 1 4 時 0 0 分～1 5 時 3 0 分		
開催場所		相模原市役所 第 2 別館 5 階教育委員会室		
出席者	委 員	1 0 人 (別紙のとおり)		
	その他	0 人		
	事務局	4 人 (文化財課長 他 3 人)		
公開の可否		☐ 可 ☐ 不可 ☒ 一部不可	傍聴者数	0 人
公開不可・一部不可の場合は、その理由		相模原市審議会等公開基準第 2 条第 1 号第 1 号及び情報公開条例第 7 条第 1 号及び第 2 号に基づき非公開情報に関して審議するため。		
議 題		(1) 新規指定・登録文化財の答申について (2) 新規登録文化財の諮問について (3) その他		

議 事 の 要 旨

審議会の冒頭、本日の議題２相模原市文化財の新指定・登録候補については、個人及び法人の権利に係る内容の審議になることから、相模原市審議会等公開基準及び情報公開条例に基づき、非公開にすることについて了承された。

議題（１） 新規指定・登録文化財の答申について

- ・相模原市審議会等公開基準第２条第１項第１号及び情報公開条例第７条第１号並びに第２号に該当する情報を審議するため、議題１について非公開とすることを決定した。
- ・文化財の新指定・登録候補の６件について、事務局が説明を行い、その後に質疑応答が行われ、諮問した６件全て文化財の指定及び登録が妥当であると文化財保護審議会より答申をいただいた。

議題（２） 新規登録文化財の諮問について

事務局から説明を行い、質疑応答が行われた。

（内川委員）市史を作成する際に、現地の縄張りの痕跡が結構残っていたので、踏査して、確認できそうなところを写真を入れたりして『市史ノート』第８号に詳しく書いてあるが、ダイジェスト版で市史に上矢部土塁を掲載させてもらっている。説明があったように、確認調査を何度かしている。石塔の採集資料や先ほど説明のあった堀の中から遺物が出土している。地元では鎌倉時代に遡る伝承があるが、実際にはもう少し新しい時代であることが確認できている。当時、地権者の方にいろいろ聞いたかったが、拒絶されて、何も話が聞けなかった。そういった状況があまり良くなかったところが、市のものになったということを今聞いて、ようやく史跡として、きちんと登録できるような状況になったということだ。市街化が進んでいるところではあるが、それなりの縄張りを確認できるような状況が、今もあると思うので、ぜひ残してほしい。

議題（３） その他

（宮本委員）前回の視察の時に話をしたが、天然記念物の指定に向けて、小倉山の照葉樹林スダジイについて、今どのような状況であるのか。測量する現地の天然記念物の指定範囲の測量をする見積りの金額や予算についても全部教えてもらったが、その後それがどういう扱いになっているかというのは全く聞いていない。非公開と言われたらそれまでだが、どうなっているのか。

(事務局) 宮本委員と文化財課の担当者と博物館の天然記念物、生物の学芸員といろいろ調整させてもらいながら、今進んできたものである。実際、天然記念物として指定する範囲をどこまでにするかというところを次の段階として、宮本委員にはご足労をかけるが、現地の調査が必要である。また、学芸員からの意見もあって、その範囲について調整した上で、実際に林野庁と協議を進めて、なおかつ、測量の予算、それなりの金額を要求していくという流れを作っている。

(宮本委員) 事務の方法としてはそうだろうが、私には、「予算はこうなりました、こんな金額ですよ、すごい金額になってしまった」ということで終わっている。もう少し伝えられるところは伝えてほしい。手伝うように言われても、協力はあるが、内情を見せてくれないとわからない。何の連絡もない。私自身のやる気があって当然だと思われても困るし、私もこれだけに関与しているわけではなく、他の生態系保全等いろいろな事業に関与しているので、だんだん、その体力をここにわざわざかけなくなる。もう少しうまく繋いでいってほしい。委員だから当然協力するだろうというように思うのはやめてほしい。2月に予算と見積もりを聞いて、当初よりも高額になったと聞いた。それに対してどうやるのか、どう考えていくのかを示してくれない。もう諦めるかという話になった。

(事務局) 今、文化財課では、諦めるという話は全くない。進めていきたいと思いますという話になっている。

(宮本委員) それならそれをちゃんと示してほしい。もう半年以上は何もないと、博物館の秋山館長とはどうしたものなのかという話になっている。何か指針を出してくれないと、今こういう段階でこういう風に進めていく、秋までにこうするなど、次元を切ってほしいと思う。

(事務局) 承知した。

以 上

相模原市文化財保護審議会委員出欠席名簿
(令和8年8月6日開催)

No.	氏 名	所 属 等	出欠席	備考
1	薄井 和男	中世美術史（彫刻） 元神奈川県立歴史博物館館長	出席	
2	内川 隆志	日本考古学 國學院大學文学部教授	出席	副会長
3	海老澤 模奈人	建築史（近代建築史） 東京工芸大学工学部教授	出席	
4	鹿野 陽子	造園学（景観） 岐阜県立国際園芸アカデミー客員教授	欠席	
5	神崎 直美	日本近世史 城西大学経済学部教授	出席	
6	中島 彩花	日本美術史（中世絵画、染色文化） 女子美術大学研究所特任助教	出席	
7	萩谷 宏	地球科学（地質学・岩石学・地球史） 東京都市大学理工学部准教授	出席	
8	浜田 弘明	人文地理学 桜美林大学リベラルアーツ学群教授	出席	
9	宮本 太	植物分類・生態学 東京農業大学農学部教授	出席	
10	山崎 祐子	民俗学 一般財団法人宮本記念財団理事	出席	
11	山田 正法	郷土史 元相模湖町文化財保護委員	欠席	
12	山本 雅子	解剖学、発生学（動物） 麻布大学名誉教授	出席	会長

任期は、令和6年10月1日から令和8年9月30日まで